2026 年 8 月吉日
2026 年 10 月 23 日（改訂）

（公社）公益社団法人日本鋳造工学会　会員各位
（一社）日本鋳造協会　会員各位

主催 公益社団法人日本鋳造工学会　東海支部
支部長 兼 企画委員長　白川 博一

協賛　一般社団法人日本鋳造協会　東海支部

公益社団法人日本鋳造工学会東海支部

2026 年度「鋳物技術講演会＆技術交流会」のご案内

拝啓　時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は日本鋳造工学会東海支部の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東海支部では本部「第 3 期中長期ビジョン」に掲げられている「日本での“モノづくり”、“人づくり”に貢献し、鋳造業界を元気にする」という想いを受け、鋳造業界が取り組んでいるテーマを「3 つのシンカ（**深化・新化・進化**）」＋「**親化**」による仲間づくりを推進するとともに、支部の学会活動を通じて、会員の皆様のニーズ合わせて学会活動に参加できる環境づくりを進めています。

今回は、近年のデジタルモノづくりの進展に伴い、鋳造業界においても AI・DX の活用が重要性を増していることを踏まえ、「**鋳造工場で活用できる AI・DX・自動化**」をテーマとした**技術講演会**を開催いたします。各分野の第一線でご活躍されている講師の皆様をお招きし、実際の活用事例や最新動向についてご講演いただきます。また、講演会終了後には**技術交流会**も開催いたします。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

鋳物技術講演会

- 開催日時：**2026 年 10 月 30 日(金)　13:30～16:50**
- 開催方式：ハイブリッド形式（会場 or Web のどちらかを選択してお申込みください）
- 開催場所：【会場】シャインズ　~~3F ホール 5F~~　**プラザ B・C　※会場変更となりました**
  愛知県刈谷市東陽町 2 丁目 1 8 番地　TEL：0566-24-3348
  【WEB】 Zoom ウェビナー
- 講演内容：別紙「講演プログラム」をご参照ください。
- 定　　員：【会場】　50 名（先着順となります。定員に達し次第、WEB をご案内します）
  【WEB】　100 名（先着順）

※WEB 参加について
- WEB でのご視聴をご希望の方は、当日参加する E メールアドレスを申込みフォームにご記入ください。
- 当日のウェビナーURL は後日、お申込み時の E メールアドレス宛にご案内します。
- 当日は開始 15 分前から入室できます。

- 参加費：

会員区分	参加料（税込）
日本鋳造工学会　個人会員・維持会員	5,000 円/人
日本鋳造工学会　学生会員	無料
鋳物組合会員・日本鋳造協会会員	5,000 円/人
非会員	22,000 円/人

技術交流会

- 開催日時：**2026 年 10 月 30 日(金)　17:00～18:30**
- 開催場所：【会場】シャインズ 5F プラザ A
- 定　　員：60 名（先着順）
- 参加費　：

会員区分	参加料（税込）
日本鋳造工学会　個人会員・維持会員	3,000 円/人
日本鋳造工学会　学生会員	
鋳物組合会員・日本鋳造協会会員	5,500 円/人
非会員	

＜参加申込方法＞

- 申込方法：東海支部ホームページ（https://jfs-tokai.jp/）よりお申込みください。
  申込フォームは**こちら**

＜参加申込期日＞　10 月 16 日（金）まで

- 参加費の支払方法：お支払いは銀行振込のみとなります。下記口座へお振込みください。

＜振込先＞

銀行名	三菱 UFJ 銀行　（銀行コード：0005）
支店名	金山支店　（支店番号：288）
口座種別	普通預金
口座番号	1262063
口座名義	(公社)日本鋳造工学会東海支部　ｼﾔ)ﾆﾎﾝﾁｭｳｿﾞｳｺｳｶﾞｸｶｲ ﾄｳｶｲｼﾌﾞ

＜お支払い期限＞　10 月 20 日(火)までにお願いします。

※ 領収書は銀行の振込受領書を持って代えさせていただきます。
※ 振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。
※ 締切後にキャンセルされた場合、参加料の返却はいたしません。

＜お問い合わせ先＞〒473-8501　愛知県豊田市高丘新町天王 1 番地
アイシン高丘(株)　先行開発部内
(公社)日本鋳造工学会東海支部　事務局　岩間由圭子
TEL：080-6166-6000　　E-mail：jfs-toukai@to.at-takaoka.co.jp

以上

【鋳物技術講演会】プログラム（予定）

＜司会＞東海支部　理事　安達 直功

時間	講演テーマ	発表者・講師
13:30～13:35	開会挨拶	白川支部長
13:35～14:15	＜講演 1＞ **「自動車産業を取り巻く環境変化に対応するためのＤＸ推進」** 【講演概要】 世界情勢や顧客ニーズの変化により、自動車産業では従来のものづくりだけでは差別化が難しくなっている。鋳造技術の進化を振り返りながら、デジタル技術（DX）を活用した新たなものづくりの方向性を紹介する。 トヨタの ADA コンセプトを例に、デジタルと日本の強みである「基本現象の解明」「造り込み・擦り合わせ」を融合し、競争力向上、働き方改革、新たな価値創出を目指す鋳造 DX の可能性について提案する。	トヨタ自動車株式会社 素形材生技部　DX 推進室 グループ長　**髙坂　博宣　氏**
14:15～14:55	＜講演 2＞ **「鋳造分野における深層学習の応用事例」** 【講演概要】 従来、鋳造プロセス設計は熟練者の経験や勘に依存してきた。しかしながら、製品の軽量化や高精度化といった要求品質の高度化により、従来手法のみでの対応は困難になりつつある。 一方、近年のセンサ技術や計算機性能の向上、AI 技術の発展に伴い、製造工程における大量のデータ活用が可能となった。鋳造分野でも、AI を活用することで、データに基づく予測、分析、最適化技術の導入が期待されている。 本講演では、はじめに深層学習の仕組みや特徴について概説し、その後、深層学習および機械学習を用いた 2 つの研究事例を紹介する。	三重大学 工学部・工学研究科 技術部 教授　**矢野 賢一　氏** 技術員　**南出 大地　氏**
14:55～15:05	休憩	
15:05～15:45	＜講演 3＞ **「鋳造業における DX の実践」** 【講演概要】 木村鋳造所における DX の歩みと、その具体的な実践手法を紹介する。 1927 年の創業以来、フルモールド鋳造法や 3D プリンターを導入し、手作業からデジタル主導の生産体制へ移行してきた。第 1 次 DX では CAD/CAM や NC 加工機を活用し、工程の分業化・自動化と標準化を実現した。 現在の第 2 次 DX では、IoT や AI を活用した「スマート・ストラクチャー戦略」を展開している。 自作 IoT デバイスによるアナログ管理からの脱却、AI を用いた冷却時間予測による生産計画の最適化、過去図面の AI 検索、工程のフロントローディングによる部門間の壁の打破など、サイバーフィジカルシステムを通じた一気通貫の生産体制構築の実例を解説する。	株式会社木村鋳造所 システム改革部 部長　**沖 寿之　氏**

＜講演４＞	**下記３社の鋳造現場における AI・DX・自動化取組み事例をご紹介**	
15:45～16:05	＜講演４－①＞ **「生形ラインにおける計測・トレーサビリティ工程の自動化」** 【講演概要】 生型鋳造ラインでは、生砂性状の評価や鋳型強度の測定、鋳型の型落ち検査など多くの品質管理業務が作業者による測定・確認に依存している。 本取り組みでは、これら各工程における測定の自動化を進め、各種測定装置をラインに導入した。また、それらの装置から取得したデータに加え、生産設備から得られる各種運転データを統合的に収集・蓄積することで、鋳型単位でのトレーサビリティシステムを構築した。 本発表では、これらの事例について報告する。	新東工業株式会社 鋳造事業部　開発Ｇ チームリーダー **朝岡 康明 氏**
16:05～16:25	＜講演４－②＞ **「鋳造不良を「作らない」ものづくり** **― カメラ画像による鋳型状態の定量化と未然防止－ 」** 【講演概要】 鋳造現場では、良い鋳型づくりの多くが熟練者のカン・コツに頼っており、不良の原因や異常を数値で捉えることが困難だった。 アイシン高丘では、現場と技術スタッフが一体となり、この経験に頼る判断を定量化することで、不良を「作らない」ものづくりに取り組んでいる。 本講演では代表不良「カタオチ」を対象に、要因を砂量不足による鋳型背面のフート形状に絞り込み、鋳型をカメラで撮影してフート形状数を数値化する仕組みを構築した事例を紹介する。	アイシン高丘株式会社 ものづくり革新部 **花井　徹 氏**
16:25～16:45	＜講演４－③＞ **「鋳鉄・アルミ鋳造工場での自動化実践例」** 【講演概要】 豊田自動織機東知多工場では、安全・作業の効率化の観点より、鋳造部門の現場作業自動化の取組を実施している。全体の取組状況から、実際の導入の実例（中子バリ取り・湯口清掃等…）の紹介をおこなうともに、導入時の失敗事例、苦労したポイント等について、紹介する。	株式会社豊田自動織機 東知多工場 エンジン事業部 鋳造部 主査　**安達 直功 氏**
16:45～16:50	閉会の挨拶　・　諸連絡	安達理事

講演会終了後、技術交流会を行います。（会場　5F プラザ A･B へ移動）

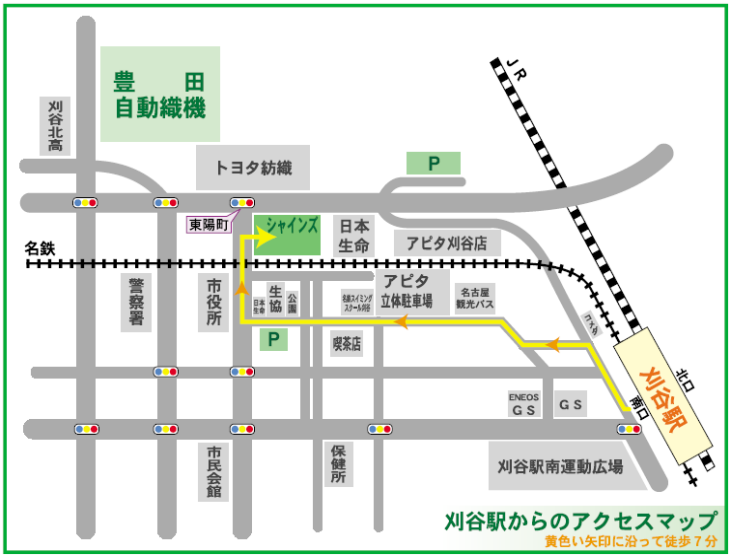
会場アクセス

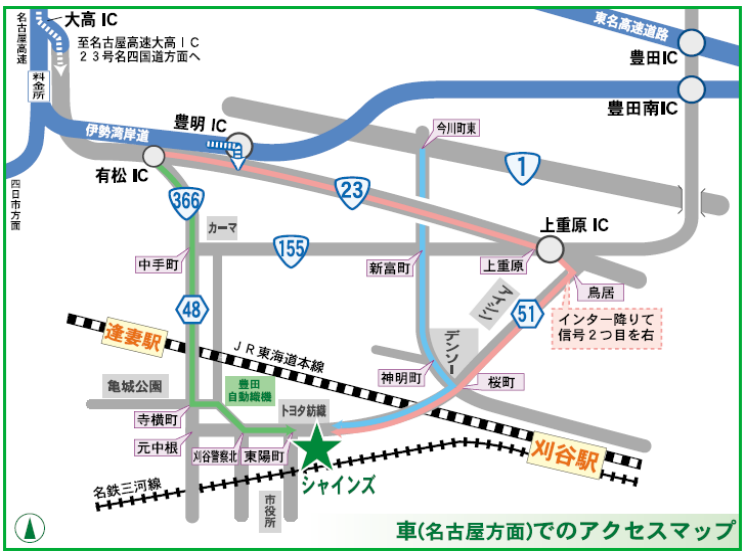
○公共交通機関でご来場の方

JR 刈谷駅南口より徒歩 7 分（下記地図参照）

○お車でご来場の方

お車で来られる方は、桜町Ｐ（無料）に駐車ください。
施設内の地下駐車場はご利用いただけません。





詳細はシャインズの公式ホームページ
(http://www.shines-shokki.jp）をご参照ください。

